

高齢者の健康に関する調査

令和4年度

内閣府政策統括官（政策調整担当）

目 次

第1章 調査の目的及び方法等

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象者	1
(3) 標本数	1
(4) 調査事項	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) サンプルング方法	1
(8) 有効回収数	3
(9) 調査委託機関	3
(10) 企画分析委員会	4
(11) 本報告書を読む際の留意点	4
3. 調査対象者の基本属性	6
(1) 性別 (F 1)	6
(2) 年齢 (F 2)	6
(3) 現在の結婚の状況 (事実婚含む) (F 3)	6
(4) 同居者 (F 4) (複数回答)	7
(5) 同居者人数 (F 4-1)	7
(6) 子供の有無 (同居・別居別) (F 5)	7
(7) 最後に卒業した学校 (F 6)	8
(8) 1か月当たりの平均収入額 (税込み) (F 7)	8

第2章 調査結果の概要

1. 調査対象者の基本属性	9
(1) 性別 (F 1)	9
(2) 年齢 (F 2)	9

(3) 現在の結婚の状況（事実婚含む）（F 3）	10
(4) 同居者（F 4）（複数回答）	11
(5) 同居者人数（F 4 - 1）	12
(6) 子供の有無（同居・別居別）（F 5）	12
(7) 最後に卒業した学校（F 6）	13
(8) 1か月当たりの平均収入額（税込み）（F 7）	14
2. 健康状態と日常生活	15
(1) 現在の健康状態（問 1）	15
(2) 日常生活での活動状況（問 2）	17
(3) ふだん（散歩なども含め）の外出頻度（問 3）	34
(4) 親しくしている友人・仲間の有無（問 4）	36
(5) 家族や友人との会話の程度（問 5）	38
(6) 日常生活全般についての満足度（問 6）	40
3. 医療・福祉	42
(1) 健康について心がけているか（問 7）	42
(2) 健康についていつごろから心がけているか（問 8）	44
(3) 健康について日頃心がけていること（問 9）	46
(4) 日頃からの身体の動かし方（問 10）	48
(5) 「医療サービス」を利用するにあたって、困っていること（問 11）	50
(6) 通院や「医療サービス」の利用頻度（問 12）	52
(7) 「医療サービス」を利用する際の主な移動手段（問 13）	54
(8) 自身の病気や症状（問 14）	57
(9) 将来、排せつ等の介護が必要な状態になると考えた時の不安点（問 15）	60
(10) 将来、排せつ等の介護が必要な状態になった時、誰に介護を頼みたいか（問 16）	63
(11) 将来、排せつ等の介護が必要な状態になった際の介護費用のまかない方（問 17）	66
(12) 医療や健康に関する情報について、自分自身でできる行動（問 18）	69
(13) 医療や健康に関するインターネットでの情報収集（問 19）	72
4. 現在の就労活動や社会的な活動への参加	75
(1) 現在の就労状況（問 20）	75
(2) 仕事の勤務形態（問 21）	77

(3) この1週間の合計勤務時間 (問 22)	80
(4) 現在、仕事をしている主な理由 (問 23)	82
(5) 現在、収入を伴う仕事をしていない理由 (問 24)	84
(6) 現在、何らかの社会的な活動を行っているか (問 25)	86
(7) 現在、感じている生きがい (喜びや楽しみ) の程度 (問 26)	89

第3章 調査結果の分析・解説

・高齢者の生きがいとその規定要因 佐藤 博樹	91
・インターネットの利用は高齢者のヘルスプロモーション力を高めるのか? 澤岡 詩野 ..	96
・「介護してくれる家族がないこと」に不安をもつ高齢者の特徴について 藤森 克彦 ..	104
・高齢者の就業状況とその関連要因について 安村 誠司	114

第4章 集計結果

1. 調査票 (単純集計結果付き)	121
2. 単純集計結果	133
3. クロス集計表	142
(1) 基本軸クロス	142
(2) 質問間クロス	224